

サロン 登美ヶ丘茶論(18)

2021年6月



戦争に突入時のよう東京五輪

歴史上「感染五輪」と名を残す

◆ 76年前の大阪空襲の思い出

今から76年前の1945年(昭和20年)6月7日、その日は朝早くから警戒警報、次いで空襲警報が出て、母と家の庭先に掘った防空壕に入っていたのですが、壕の外に居た(というのは、隣組の私の友達が壕に入って来たので、父はやむなく勇気を出して家の軒下に居た)父が、「そんな所に居たら死んでしまう、逃げよう」と言ったので壕から出るともう、家の軒が燃え上がっていました。もう少し遅ければ、焼け落ちた家の下敷きになって壕内で蒸し焼きになって死んでいたところでした。そうして死んだ町内の人はいました。昭和30年になって、鉄筋コンクリートの市営住宅を建てるので重機で土地を掘り起こしたところ、多数の遺骨が出てきましたが、もうどこの誰かは判明しませんでした。それから近くの淀川の川原に逃げたのですが、そこでは米軍戦闘機による機銃掃射があって数百人が死にました、それは私は見ていないのですが、翌日か翌々日かの一つ二つ年上の遊び仲間と城北公園に行くと、多数の遺体が茶毘に付されていました(父に話すと、「そんなもの見るんじゃない」と叱られました)。今もその所に「千人塚」があります。戦争は庶民こそ最大の被害者です。日本国憲法前文には、「政府の行為によって再び戦争の惨禍が起ることのないやうにすることを決意し…」とあります。この誓いを忘れずにいましょう。

「被害体験ばかり訴える戦争の語り部たちに違和感おぼゆ」というのは、2015年4月20日の毎日新聞歌壇にあった短歌ですが、日本は内地が空襲されるずっと前に南京に無差別空襲をしていた(ゲルニカ空襲の手本になった)ので、私たちも加害者側でした。殺されるのは嫌ですが、殺すのも嫌です。日本国憲法を遵守して平和を守りましょう。(msさん)

感染がまん延してから防止措置

関東と関西結ぶ新感染



各社世論調査(5~6月実施)資料

東京新聞などが都内で実施した「都民意識調査」(5月22-23日)によると、菅内閣支持率16.1%、不支持率64.6%であり、五輪・パラ開催について「中止するべきだ」60.2%、菅首相の「国民の命や健康を守り、安全安心の大会を実現することは可能」の発言に対して「納得できない」67.2%であったといえます。また、政府のコロナ対応については「全く評価しない」42.9%、「あまり評価しない」34.3%を合せて77.2%にも達したと報じられています。

以下の①支持率、②五輪、③コロナに対する全国調査結果も概ね類似していますが、皆さんはどのようにご覧になるでしょうか?

- 読売 6/7 ①支持 37%、不支持 50、②観客制限開催 24、無観客開催 26、中止 48、③評価 27、不評価 68
- 読売 5 ①支持 43、不支持 46(前回 47 vs 40)、②観客制限開催 16、無観客開催 23、中止 59、③評価 23、不評価 68
- JNN6/7 ①支持 39、不支持 58.3(前回 40 vs 57)、②開催 44、延期 31、中止 24、③評価 34、不評価 57
- 毎日 5/23 ①支持 31、不支持 59(前回 40 vs 51)、②無観客開催 13、再延期 23、中止 40、③評価 13、不評価 69
- 朝日 5/16 ①支持 33、不支持 47(前回 40 vs 39)、②再延期 40、中止 43、③不評価 67(前回 61)
- フジ・産経 5/16 ①支持 43、不支持 52.8(前回 52.3 vs 41.9)、③不評価 69.5(前回 59.7)
- 時事通信 5/7 ①支持 32.2、不支持 44.6(前回 36.6 vs 37.7)、③評価 17.6、不評価 64.6(前回 26.5 vs 53)
- NHK5/7-9 ①支持 35、不支持 43(前回 44 vs 38)、③不評価 63(前回 53)



カネ色に染まっちゃった輪輪輪輪輪

俯瞰的総合的に中止でしょ

「茶論」への御投稿をお待ちしています。どんな話題でも結構です。気軽に御投稿ください。掲載時、投稿者は匿名扱いとします。原稿は以下の世話人ポストへ放り込んでください: 石田(松陽台 2-16-4 ☎46-0352)、赤沢(鳥見 2-5-1)、秋山(東登美 4-22-19)、藤田(西登美 4-17-4)、堀江(西登美 1-20-7)、宮田(鶴舞西 2-10-C505)、羽谷(中登美 4-1 ローレル I-7-204)、森本(西登美 1-22-21)

登美ヶ丘九条の会





◆ 改定国民投票法が6月11日参院本会議で可決、成立—憲法が危ない

菅首相は早速「憲法改正の機運が確実に高まっている」と発言、加藤官房長官は憲法への「緊急事態条項」の創設にはコロナ感染拡大を好機と見て、「未曾有の事態を全国民が経験し、緊急事態の備えに関心が高まっている。議論を進めるには絶好の契機だ」と述べ、下村博文政調会長は「今国難だが、ピンチをチャンスに変えるように政治が動かねばならない」と公言して憚りません。

成立した改定国民投票法は最低投票率の規定がない、運動資金規制がない、CM規制がない、公務員・教員の表現の自由の侵害、等々肝心要の部分は何も決まっていない。これらの一部は付帯決議に入っており、3年間で結論を出すそうだが、改憲派は改憲議論と同時並行でやれと主張しており、彼ら当面の最大目標は、加藤官房長や下村政調会長の弁にあるように、「緊急事態条項」の創設です。緊急事態条項とは憲法停止条項であり政令万能の専制独裁、恐怖政治への道です。(htさん)

うがい薬以来怪しい大阪府

人間の命は五輪より軽い

◆ 悪鬼の引っ越し、集団狂気の見本「松代大本営」を見に行こう！



太平洋戦争末期日本の敗色が決定的となったギリギリの段階—1944年5月頃—になって、政府は本土決戦を想定して、長野県松代の三つの山に一大防空地下壕を掘って、そこへ大本営すなわち天皇や軍、政府の中樞、NHK、電話局等を移転させる決定を下しました。同年11月11日午前11時(いいつき、いいひ、いいとき)突貫工事開始。西松建設が地下壕掘削、鹿島建設が天皇御座所(仮皇居)の建設を請け負ったといひます。鈴木貫太郎内閣は1945年7月末のポツダム宣言も黙殺し軍部は戦争継続を主張、天皇は「三種の神器」なくば国体(天皇を頂点とする国家体制)護持できぬと松代行きを決意するという集団狂気状態でした。この集団狂気の馬鹿げた国策工事は、終戦の日まで続いたのです。この間、植民地朝鮮からは44年11月には富山港を経て2000人の朝鮮人労働者が連行されて来ました。45年4-5月には、地下壕労働者は1万人にも達したそうですが、その内6-7千人が朝鮮人労働者であり、強制連行されて来た彼らは来た時の着のみ着のままの服装で与えられる食料も麦に高粱や米の粉を混ぜて多く見せかけた粗悪なもので、慢性的な飢餓状態だったといひます。過酷な労働と厳しい行動監視やリンチ等による取り締まりも日常的でした。

軍「慰安婦」については河野談話(1993年)でも認定されていることですが、松代でも大本営移転に伴って4人の朝鮮人女性慰安婦が確認されています。慶尚南道の農村出身の女性は日本名を付けられ、「特殊看護婦になれると言われて」強制的に連れて来られたそうです。何れも20歳前後の若い女性でした。8月15日解放の喜びで朝鮮人労働者はマンセイ(万歳)を叫び町内をデモし、チョゴリの女性たちが歓声をあげたそうです。慰安所建物は警察の指示で半強制的に借り上げられ、大本営工事を指揮する関係者の宴会場兼「慰安所」として1944年11月から1945年8月まで使われました。この家屋は91年に解体されましたが資材を保存・再生、2013年にリニューアル・オープンして「もう一つの歴史館・松代」としてその歴史を伝えています。地下壕の全体図、削岩機、トロッコ、モッコ、証言で語る松代での工事等が展示され、関連書籍販売もなされています。また、象山という山の地下壕(5853m)の一部(500m)も公開されています。

1985年沖縄への修学旅行でガラビ壕の戦跡に衝撃を受けた地元の高校生たちが松代地下壕を史跡として保存するように長野市長に出した手紙から保存運動が始まりました。松代の高校生たちの戦争を語り継ぐ運動は今も続いているのでしょうか？(松代大本営の保存をすすめる会編「ガイドブック 松代大本営」, 新日本出版社, 1995; PC検索から) (yoさん)

菅さんになっていいことあったかな

あの党を増長させたのも民意

不都合な質問出たら聞かぬふり

多いよね地位がつくったバカな人

